



日本聖公会大阪教区 教区成立100周年

教区成立100周年記念礼拝

主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。ネヘミヤ記 8:10



日時：2023年6月11日(日)10:30~

場所：プール学院 メアリーズホール (JR環状線「桃谷」駅下車)

司式・説教	主教アンデレ磯晴久				
子ども祝福	主教レノン張員栄				
祝 禱	主教ルカ武藤謙一				
主教陪侍	司祭バルナバ小林聡				
旧約聖書	ピース木村歩美(石橋聖トマス教会) 阿地杏子(芦屋聖マルコ教会)	使徒書	ヨシュア久保義道(東豊中聖ミカエル教会・ 聖ミカエル保育園)		
詩 編	司祭ジョイ千松清美	福音書	執事ヒュームウィリアムユウワン		
十字架	エスターマクストン神学生 ラザロ金材弦(川口基督教会)				
蠟燭・侍者	聖職候補生ステラ・ミシェル大倉有紀神学生、ヴェロニカ薦田久美子神学生				
侍 者	サムエル斎藤琢(石橋聖トマス教会)				
奏 楽	マリア小野田富美子(大阪聖アンデレ教会)、姜金珠(ソウル教区男性合唱団)、グレース辻彩乃(川口基督教会)、セシリア成岡恵実(大阪城南キリスト教会)、クララ大西暖子(大阪聖三一教会)				
聖歌隊	ソウル教区男性合唱団〔指揮:金珉〕 大阪教区聖歌隊・大阪教区キッズ聖歌隊〔指揮:ソフィア内海由美子(川口基督教会)〕				
ディーコン	執事ヒュームウィリアムユウワン				
代 禱	ヤコブ名出敬(川口基督教会)、ヤコブ山名大悟(高槻聖マリヤ教会)、エスターマクストン神学生、エリザベツ鈴木久美子(恵我之荘聖マタイ教会)、マタイ小椋太心(大阪聖アンデレ教会)				
奉 献	サムエル大西涼空(大阪聖三一教会)、パウロ山崎諒(石橋聖トマス教会)				
信徒奉事者 (分餐誘導)	リベカ大塚陽子(川口基督教会)、アブラハム大西温(大阪聖三一教会)、マリヤ勝原純子(尼崎聖ステパノ教会)、シモン岐邨正昭(東豊中聖ミカエル教会)、ニコラス丹田則史(聖ガブリエル教会)、イサク寺内誠(芦屋聖マルコ教会)、イサク豊川雅章(大阪聖愛教会) エディス松本愛子(大阪聖パウロ教会)ヴェロニカ村井幸子(大阪聖アンデレ教会)、オーガスチン山崎信(石橋聖トマス教会)、モーセ渡壁忍(大阪城南キリスト教会)				
分餐(一種)	A:主教アンデレ磯晴久、主教レノン張員栄 B:主教サムエル大西修 C:司祭ウイルソンウォーレン D:司祭テモテ内田望 E:司祭ヨハネ古澤秀利 F:司祭マルチン韓相敦 G:司祭クリストファー奥村貴充				
聖卓奉仕	ヘレナ斎藤みち(石橋聖トマス教会)、ハンナ山崎幸子(石橋聖トマス教会)				
動画配信	ペテロ当舎葵(西宮聖ペテロ教会) アッシジのフランシス荒木天音(京都 聖アグネス教会)				
受 付	教区婦人会	案 内	連合男子会	手話通訳	教区手話の会 「つたえて」
生 花	大阪教区GFS	会場準備	プール学院職員		
救 護	テレサ高島美智(大阪聖愛教会)	スナップ撮影		ヨセフ國分腆旺(大阪聖愛教会)	
式典長	司祭フランチェスコ成岡宏晃				
副式典長	司祭ペテロ金山将司				
100周年記念セレモニー					
朗読 バナー奉持	ことのは 大阪教区子どもたち(プログラム担当グレース内海紗英子(川口基督教会))、各教会・団体代表				

ぜん そう
前 奏

さん にゆう
参 入

一同立つ。

せい か せい
聖 歌 第 384 番 (13ページ)

主教 しゅ 主イエス・キリストよ、おいでください

会衆 て し なか た ふっかつ すがた あらわ のぞ
弟 子 たち の 中 に 立 ち、 復 活 の み 姿 を 現 さ れ た よ う に、 わ た し た ち の う ち に も お 臨 み く
だ さい

ぜん の う かみ ぜん の う かみ
全 能 の 神 よ、 す べ て の 心 は 主 に 現 れ、 す べ て の 望 み は 主 に 知 ら れ、 ど の よ う な 秘 密 も み 前 に
かく かく
隠 れ る こ と は あ り ま せ ん。 ど う か 聖 霊 に よ っ て わ た し た ち の 心 を 清 め、 ま こ と に 主 を 愛 し て
み な えいこう あらわ
み 名 の 栄 光 を 現 す こ と が で き ま す よ う に、 主 イエ ス ・ キ リ ス ト に よ っ て お 願 い い た し ま す。
アーメン

主教 えいこう ちち こ せいれい
主 教 栄 光 は、 父 と 子 と 聖 霊 に

会衆 はじめのよう^{いま}に今も世々に限りなく アーメン

だいえいこう うた
大 栄 光 の 歌

いと高きところには神に栄光、地にはみ心にかなう人びとに平和がありますように。

ぜん の う ちち てん おう しゅ かみ しゅ おが しゅ かんしゃ しゅ えいこう
全 能 の 父、 天 の 王、 主 なる 神 よ、 主 を 拝 み、 主 に 感 謝 し、 主 の 栄 光 を ほ め た た え ま す。

ちち ひと ご しゅ よ つみ のぞ かみ こひつじ しゅ かみ
父 の 独 り 子、 主 イエ ス ・ キ リ ス ト、 世 の 罪 を 除 く 神 の 小 羊、 主 なる 神 よ、 わ た し た ち に 憐 れ
み を お 与 え く だ さい。 父 の 右 に 座 し て お ら れ る 主 よ、 わ た し た ち の 祈 り を 受 け 入 れ て く だ さい。
い。

イエス・キリストよ、主のみ聖、主のみ王、主のみ聖霊とともに、父なる神の栄光のうちに、

もっと たか
最 も 高 く お ら れ ま す アーメン

特 禱

主教 主は皆さんとともに
会衆 また、あなたとともに
主教 祈りましょう

＜大阪教区 教区成立100周年の祈り＞

信頼と一致、真理の源である神よ、あなたはわたしたちをみ子の十字架と復活、そして聖霊の降臨によって遣わされた使徒たちからの唯一の聖なる公会に召し、あなたに仕えさせてくださいました。どうか教区成立100周年を迎える日本聖公会大阪教区と大阪教区に連なるすべての人たちに聖霊を注いでください。この100年の感謝を分かち合い、主を喜びとし、主のみ言葉に聴き、主の福音を分かち合う器として、ますます謙遜な心で歩み続けることができますように、わたしたちを豊かに用いてください。み子イエス・キリストによってお願いいたします アーメン

み 言 葉

主教 聖書のみ言葉を聞きましょう

会衆は着席する。

旧約聖書 ネヘミヤ記 第8章 8～12節

8 彼らは神の律法の書を翻訳し、意味を明らかにしながら読み上げたので、人々はその朗読を理解した。9 総督ネヘミヤと、祭司であり書記官であるエズラは、律法の説明に当たったレビ人と共に、民全員に言った。「今日は、あなたたちの神、主にささげられた聖なる日だ。嘆いたり、泣いたりしてはならない。」民は皆、律法の言葉を聞いて泣いていた。10 彼らは更に言った。「行って良い肉を食べ、甘い飲み物を飲みなさい。その備えのない者には、それを分け与えてやりなさい。今日は、我らの主にささげられた聖なる日だ。悲しんではならない。主を喜び祝うことこそ、あなたたちの力の源である。」11 レビ人も民全員を静かにさせた。「静かにしなさい。今日は聖なる日だ。悲しんではならない。」12 民は皆、帰って、食べたり飲んだりし、備えのない者と分かち合い、大いに喜び祝った。教えられたことを理解したからである。

詩 編 第23編

- 1 主はわたしの牧者 || わたしは乏しいことがない
- 2 神はわたしを緑の牧場に伏させ || 憩いの水辺に伴われる
- 3 神はわたしの魂を生き返らせ || み名のゆえにわたしを正しい道に導かれる
- 4 たとえ死の陰の谷を歩んでも、わたしは災いを恐れない || あなたがわたしとともにおられ、あなたの鞭と杖はわたしを導く
- 5 あなたは敵のしている前でわたしのために食卓を整え || わたしの頭に油を注ぎ、わたしの盃を満たされる
- 6 神の恵みと慈しみは、生きている限り、わたしに伴い || わたしは永遠に主の家に住む

使徒書 ヨハネの黙示録 第2章 2～7節

2「わたしは、あなたの行いと労苦と忍耐を知っており、また、あなたが悪者どもに我慢できず、自ら使徒と称して実はそうでない者どもを調べ、彼らのうそを見抜いたことも知っている。3あなたはよく忍耐して、わたしの名のために我慢し、疲れ果てることがなかった。4しかし、あなたに言うべきことがある。あなたは初めのころの愛から離れてしまった。5だから、どこから落ちたかを思い出し、悔い改めて初めのころの行いに立ち戻れ。もし悔い改めなければ、わたしはあなたのところへ行って、あなたの燭台をその場所から取りのけてしまおう。6だが、あなたには取り柄もある。ニコライ派の者たちの行いを憎んでいることだ。わたしもそれを憎んでいる。7耳ある者は、“霊”が諸教会に告げることを聞くがよい。勝利を得る者には、神の楽園にある命の木を食べさせよう。」

聖歌 第461番 (15ページ)

福音書

朗読者 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

朗読者 聖ヨハネによる福音書第10章1節以下に記された主イエス・キリストの福音。

主に栄光

会衆 主に栄光がありますように

「はっきり言っておく。羊の囲いに入るのに、門を通らないでほかの所を乗り越えて来る者は、盗人であり、強盗である。門から入る者が羊飼いである。門番は羊飼いには門を開き、羊はその声を聞き分ける。羊飼いは自分の羊の名を呼んで連れ出す。自分の羊をすべて連れ出すと、先頭に立って行く。羊はその声を知っているので、ついて行く。しかし、ほかの者には決してついて行かず、逃げ去る。ほかの者たちの声を知らないからである。」イエスは、このたとえをファリサイ派の人々に話されたが、彼らはその話が何のことか分からなかった。

イエスはまた言われた。「はっきり言っておく。わたしは羊の門である。わたしより前に来た者は皆、盗人であり、強盗である。しかし、羊は彼らの言うことを聞かなかった。わたしは門である。わたしをとおして入る者は救われる。その人は、門を出入りして牧草を見つめる。盗人が来るのは、盗んだり、屠ったり、滅ぼしたりするためにほかならない。わたしが来たのは、羊が命を受けるため、しかも豊かに受けるためである。わたしは良い羊飼いである。良い羊飼いは羊のために命を捨てる。羊飼いでなく、自分の羊を持たない雇人は、狼が来るのを見ると、羊を置き去りにして逃げる。——狼は羊を奪い、また追い散らす。——彼は雇い人で、羊のことを心にかけていないからである。わたしは良い羊飼いである。わたしは自分の羊を知っており、羊もわたしを知っている。それは、父がわたしを知っておられ、わたしが父を知っているのと同じである。わたしは羊のために命を捨てる。わたしには、この囲いに入っていないほかの羊もいる。その羊をも導かなければならない。その羊もわたしの声を聞き分ける。こうして、羊は一人の羊飼いに導かれ、一つの群れになる。わたしは命を、再び受けるために、捨てる。それゆえ、父はわたしを愛してくださる。だれもわたしから命を奪い取ることはできない。わたしは自分でそれを捨てる。わたしは命を捨てることもでき、それを再び受けることもできる。これは、わたしが父から受けた掟である。」

朗読者 主に感謝

会衆 主に感謝します

聖歌 第 517 番 (17 ページ)

説教

日本聖公会大阪教区 主教 アンデレ 磯 晴久 師

アンセム

教区聖歌隊 「このうるわしき大地に For the beauty of the earth」

ニケヤ信経

一同立って歌いまたは唱える。

わたしたちは、唯一の神、全能の父、天地とすべて見えるものと見えないものの造り主を信じます。

また、世々の先に父から生まれた独り子、主イエス・キリストを信じます。主は神よりの神、光よりの光、まことの神よりのまことの神、造られず、生まれ、父と一体です。すべてのものは主によって造られました。主はわたしたち人類のため、またわたしたちを救うために天から降り、聖霊によっておとめマリヤから肉体を受け、人となり、ポンテオ・ピラトのもとで、わたしたちのために十字架につけられ、苦しみを受け、死んで葬られ、聖書にあるとおり三日目によみがえり、天に昇り、父の右に座しておられます。また、生きている人と死んだ人とを審くため、栄光のうちに再び来られます。その国は終わることがありません。

また、主なる聖霊を信じます。聖霊は命の与え主、父と子から出られ、父と子とともに拝みあがめられ、預言者によって語られた主です。また、使徒たちからの唯一の聖なる公会を信じます。罪の赦しのための唯一の洗礼を信認し、死者のよみがえりと来世の命を待ち望みます アーメン

代 禱

執事は次のように言う。司祭または会衆の代表者が言ってもよい。

執事 救い主イエス・キリストのみ言葉とみ業に頼り、全公会のため、また世界のために祈りましょう

代禱者 聖公会共同体のために祈りましょう。神よ、主の公会ことに世界に広がる聖公会共同体を強めて、み子のみ業を行わせてください。すべての聖職と信徒ことにわたしたちの首座主教ルカ、教区主教アンデレを導き、み名を呼ぶものを主の真理と愛のうちに一致させ、日々主の栄光を現すものとならせてください

会衆 主よ、お聞きください

代祷者 世界平和のために祈りましょう。真理と平和の源である全能の神よ、すべての人の心に平和を愛するまことの愛を燃やし、国々の交わりに携わる人びとに、平和を造り出す知恵を与え、主の愛を知る知識をこの世界に満たしてください

会衆 主よ、お聞きください

代祷者 日本で暮らす「外国籍」の人びとのために祈りましょう。いのちの源である神よ、日本で生活を送る「外国籍」の人たち、ことに劣悪な労働環境下にある人、学校に通うことが困難な子どもたち、差別によって命を脅かされている人たちが、多様な可能性を發揮することができますようにわたしたちを用いてください。また、主の慈愛を悟らせ、この人たちを強め、み顔の光によって連なるすべての人たちを照らしてください

会衆 主よ、お聞きください

代祷者 苦難、困難にある国や地域のために祈りましょう。慈しみ深い神よ、どうか今戦争、弾圧、自然災害などのために住まいを失った人びと、離散させられた人びと、ことにトルコ・シリア地震の被災者、ウクライナとロシアの人びと、ミャンマーの人びとを憐れみ、その必要を満たしてください。また主の愛と真理によって、その災いから解放し、まことの幸いに導き返してください

会衆 主よ、お聞きください

代祷者 すべての逝去者のために祈りましょう。神よ、世を去ったすべての人を顧み、彼らの上に主の愛のみ旨を成し遂げてください。わたしたちは、世々に主の証人たちに与えられた主の恵みのゆえに、み名をたたえます。どうか、わたしたちも、彼らとの交わりを保ち、ともにみ国の栄光にあずからせてください

一同 主よ、これらのことをみ子イエス・キリストによってお願いいたします
アーメン

ざんげ 悔

執事 み心にかなう供え物を献げ、また自らを献げて、主が定められたこの聖奠を行うために、ともに罪を懺悔しましょう

会衆は着席する。

主教 父と子と聖霊なる全能の神、および天の会衆と皆さんの前に、わたしは、思いと、

言葉と、行いによって、多くの罪を犯していることを懺悔します。神よ、どうかわたしを憐れみ赦してください。皆さん、わたしのために主なる神に祈ってください

会衆 全能の神があなたを憐れみ、すべての罪を赦して下さいますように

主教 アーメン

会衆 父と子と聖霊なる全能の神、および天の会衆と主教の前に、わたしたちは、思いと言葉と、行いによって、多くの罪を犯していることを懺悔します。神よ、どうかわたしたちを憐れみ赦してください。主教よ、わたしたちのために主なる神に祈ってください

主教 全能の神が皆さんを憐れみ、すべての罪を赦し、恵みと力を与え、み心にかなう新しい生涯を送らせて下さいますように

会衆 アーメン

○ ご 紹 介

聖 餐

一同立つ。

平和の挨拶

主教 主の平和が皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

主教 平和の挨拶を交わしましょう

ここで、互いに「主の平和」と唱えて挨拶を交わす。

奉 献

ここで次の言葉を歌いまたは唱える。

執事 み名にふさわしい栄光を主に帰し、供え物を献げましょう

<本日の信施は、「NPO法人メタノイア」・「トルコ・シリア地震のため」・「100周年記念事業のため」にお
献げいたします。>

聖 歌 第 250 番 (19ページ)

主教 全能の父なる神よ、この「信施」供え物を受け、主のみ業のために用いてください

会衆 すべてのものは主の賜物。わたしたちは主から受けて主に献げたのです

アーメン (歴代上 29:14)

会衆は着席する。

感謝聖別

〔II〕

主教 主は皆さんとともに

会衆 また、あなたとともに

主教 心を神に

会衆 主に心を献げます

主教 主なる神に感謝しましょう

会衆 感謝と賛美はわたしたちの務めです

主教 父よ、わたしたちは、あなたの愛されるみ子イエス・キリストによって主に感謝を
献げます。

あなたはこの終わりの時に、み子を救い主、贖い主、またみ旨の使者としてこの世
にお遣わしになりました。み子は、父と一体の生きたみ言です。父はみ言によって
万物を造り、これを良いものとされました。

父はみ子を天からおとめマリヤの胎にお遣わしになり、胎内で肉体を備え、聖霊と
おとめから生まれたあなたのみ子として現されました。み子はみ旨を成就して父の
ために聖なる民を整え、父に信頼する者を苦しみから解き放つために、み手を広げ
て苦しみを忍び、死を滅ぼし、悪魔のかせを打ち破り、新しい命に復活して勝利を
現されました。

ゆえにわたしたちは、み使いとみ使いの頭および天の全会衆とともに、主の尊いみ名
をあげ、常に主をたたえて歌います

一同次の言葉を歌いました唱える。

聖なるかな 聖なるかな 聖なるかな

万軍の神 主の栄光は天地に満つ いと高きところに ホサナ

続いて一同次の言葉を歌いまたは唱えてもよい。

ほめたたえよ 主のみ名によって来られる方を

いと高きところに ホサナ

主教 まことに尊い、すべての聖なるものの源である父よ、あなたの賜物であるこのパンとぶどう酒の上に聖霊を送り、これをわたしたちのためにみ子イエス・キリストの体と血にしてください。

主イエスは、進んで引き受けられた苦しみに身を渡されることになったとき、パンを取り、感謝してこれを裂き、弟子たちに与えて言われました。「取って食べなさい。これはあなたがたのために与えるわたしの体です。わたしを記念するため、このように行いなさい」

また食事の後、杯を取り、感謝して彼らに与えて言われました。「皆この杯から飲みなさい。これは罪の赦しを得させるようにと、あなたがたおよび多くの人のために流すわたしの新しい契約の血です。飲むたびにわたしの記念としてこのように行いなさい」

一同 キリストは死に
キリストはよみがえり
キリストはふたたび来られます

主教 父よ、わたしたちは今、み子主イエス・キリストの死と復活、昇天を記念し、わたしたちを、み前に立たせ、祭司として仕えさせてくださることを感謝し、このパンと杯を献げます。わたしたちがあなたの聖なる賜物にあずかるとき、聖霊を降し、世にある者も世を去った者も、すべての人を一つの体とし、聖霊を満たしてください。わたしたちの信仰が真理のうちに強められ、すべての聖徒とともにみ子イエス・キリストによって主を賛美し、ほめたたえることができますように

一同 栄光と誉れは、聖なる教会の交わりの中で、聖霊とともにいます全能の父なる神に、主キリストによって、今も、世々に限りなくありますように アーメン

ここでしばらく黙祷してもよい。

ばい さん
陪 餐

主教は次の言葉を歌いまたは唱える。

主教 救い主キリストが教えられたように祈りましょう

一同主の祈りを歌いまたは唱える。

天におられるわたしたちの父よ、

み名が聖とされますように。

み国が来ますように。

み心が天に行われるとおりに地にも行われますように。

わたしたちの日ごとの糧を今日もお与えください。

わたしたちの罪をおゆるしてください。わたしたちも人をゆるします。

わたしたちを誘惑におちいらせず、

悪からお救いください。

国と力と栄光は、永遠にあなたのものです アーメン

主教はパンを裂く。そのとき、次のように言う。

主教 わたしたちがパンを裂くとき

会衆 キリストの体にあずかります (Iコリント 10:16)

主教 パンが一つであるから

会衆 わたしたちは多くいても、一つの体です (Iコリント 10:17)

世の罪を除く神の小羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の小羊よ、憐れみをお与えください

世の罪を除く神の小羊よ、主の平安をお与えください

主教とほかの受聖餐者は陪餐する。分餐のとき、おのおのに次のように言い、陪餐者は

「アーメン」と言う。

あなたのために与えられた主イエス・キリストの体

アーメン

陪餐(一種陪餐)は、信徒奉事者の誘導に従ってお進みください。<式文 25 ページ参照>

聖公会以外の教会で陪餐をされている方も陪餐なさってください。洗礼・堅信をお受けになっておられない方も、祝福のお祈りをいたしますので、よろしければご一緒に前に出ていただき、胸の前で腕を交差させて祝福を受けてください。

アンセム

キッズ聖歌隊「新しい歌で」

ソウル教区男性合唱団「このような教会になるように」

教区聖歌隊・ソウル教区男性合唱団「ともに TOMONI」

主教 祈りましょう

一同次の祈りを唱える。

永遠にいます全能の神よ、この聖奠にあずかった者を、み子イエス・キリストの尊い体と血
をもって、養ってくださることを感謝します。主はこれによって、わたしたちがみ子の体の
えだであり、み国の世継ぎであることをいよいよ明らかにしてくださいました。天の父よ、
わたしたちはみ子によって、心も体も生きた供え物として献げます。どうか、聖霊によって
わたしたちをこの世に遣わし、み旨を行なう者とならせてください。栄光は世々に限りなく、
父と子と聖霊にありますように アーメン

主教は次の言葉を用いて会衆を祝福する。

永遠の契約の血による羊の大牧者、主イエスを死人のうちから復活させられた平和の神が、
大阪教区と大阪教区に連なる一人ひとりに、主を喜びとし、主のみ言葉に聴き、主の福音を
分かち合う器としての謙遜な心を増し加え、み心にかなうすべての良い業を絶えず行わせ
てくださいますように

父と子と聖霊なる全能の神の恵みが、常に皆さんとともにありますように アーメン

○ご案内(23ページ)・お知らせ

一同、立って次の唱和を用いる。

執事 ハレルヤ、主とともに行きましょう

会衆 ハレルヤ、主のみ名によって アーメン

聖歌 第 412 番 (21ページ)

後 奏

1 きよき ああいいよき たりたま いも て
 2 きよき ああいいよき たつき火をもと て
 3 きよき ああいいよき たつき火をもと て
 4 わがたま ああいいよき たつき火をもと て

さ が し ま せ わ が た ま ー しい を わ が こ こ り ろ に て
 わ ず ら ま い を も や し つ く し を み ひ か こ り も に て
 あ た え ま せ ら つ つ ま し さ し を わ ひ か こ り も に て
 世 の ち か は る か こ ゆ る せ い な る し 主 よ

ち か く ま し て せ い れ い を く だ し た ま え
 お お い ま し も り わ み が み ち を て ら し た ま え
 お お い ま し も り わ み が み ち を て ら し た ま え
 わ が こ こ り ろ に や ど たり た ま え

Discendi, Amor santo
 Bianco of Siena (?-1434)

DOWN AMPNEY
 Ralph Vaughan Williams (1872-1958)

1 きよき愛よ 来たりたまいて
探^{さが}しませ わが魂^{たましい}を
わが心^{こころ}に 近くまして
聖^{せい}霊^{れい}を 降^{くだ}したまえ

2 きよき愛よ 熱^{あつ}き火^ひをもて
わずらいを 燃^もやしつくし
み光^{ひかり}もて 覆^{おお}い守^{まも}り
わが道^{みち}を 照^てらしたまえ

3 きよき愛を わが衣^{ころも}とし
与^{あた}えませ つつましさを
われ卑^{いや}しく いたらざるも
み心に かなわしめよ

4 わが魂^{たましい} あこがれ慕^{しと}う
世^よの力^{ちから} 遙^{はる}か超^こゆる
聖^{せい}なる主^{しゅ}よ わが心に
とこしえに 宿^{やど}りたまえ

詩139：23 ロマ5：5 コロ3：14 1コリ3：16

1 主 は わ り が か い ぬ し わ
 2 み ど り の か ま い き ぼ し に わ
 3 主 は わ が た ま し い い

れ は ひ つ じ み め ぐ み に
 れ を か ふ さ せ いた こ い の に
 き か え ら せ いた だ し き き み

よ り て す べ て た れ り
 ず べ に と す も ち な た た も う
 ち へ と み ち な び た た も う

8686 (CM)

The Lord's my shepherd, I'll not want
 Psalm 23; para. Scottish Psalter, 1650

CRIMOND
 melody Jesse Seymour Irvine (1836-1887)
 harm. *The Hymnal* 1982

- 1 主^{しゅ}はわが飼^かい主^{ぬし} われは羊^{ひつじ}
 み恵^{めぐ}みによりて すべて足^たれり
- 2 緑^{みどり}の牧^{まきば}場に われを伏^ふさせ
 憩^{いこ}いの水^{みず}辺^べに 伴^{ともな}いたもう
- 3 主^{しゅ}はわが魂^{たましい} 生^いきかえらせ
 正^{ただ}しき道^{みち}へと 導^{みちび}きたもう
- ➡ 4 死^しの陰^{かげ}の谷^{たに}を 行^ゆくときにも
 わざわい恐^{おそ}れじ 主^{しゅ} ともによます
- 5 恵^{めぐ}みにあふるる 宴^{うたげ}ひらき
 油^{あぶら}そそぎたもう わが頭^{こゝべ}に
- 6 命^{いのち}ある限^{かぎ}り 幸^{さち}は尽^つきず
 主^{しゅ}の家^{いえ}にわれは 永^と遠^わに住^すまわん

詩23 エゼ34：11-16 ヨハ10：11

[ユニゾン]

D A Bm G Em A

主がこられたから 主がわたしのもとへー

D A Bm Em A7 D

主がともにあゆむ このみちをゆこう

Fine

D G D G Em A

1 主がわたしをよぼれたー このみちはけわしくながくー
2 主がわたしをよぼれたー すべてーのひとーびとにー

Shu ga korareta kara
Tarsicius Isao Kikuchi (1958-)

SHU TO TOMONI
Tarsicius Isao Kikuchi (1958-)
acc. Peter Michi Miyazaki (1968-)

Em A F#7 Bm Em A7 D D7

せおうにはじゅうじかひとりつかれはてたとき
そのあいとよるこびのたよりを上げしらせるために

G G#dim D F#m Bm Em A7 D

主がともにわたしかたをささえてくださる
主がともにわたしといつも上げしらせてくださる

D.C.

(おりかえし)

主しゅが来きられたから 主しゅがわたしのもとへ
主しゅがともに歩あむ この道みちを行いこう

- 1 主しゅがわたしを呼よばれた この道みちは険けわしく長ながく
背せ負おうには十字架じゅうじか
主しゅがともにわたしの肩かたを 支さえてくださる
ひとり疲つかれ果はてたとき

(おりかえし)

- 2 主しゅがわたしを呼よばれた すべての人ひと々に
その愛あいと喜よろこびの 便たよりを告つげ知しらせるために
主しゅがともにわたしと いつも告つげ知しらせてくださる

(おりかえし)

マコ8：34並行 マコ16：19-20 ヨハ20：21 ヨハ14：26

ハレ ルーヤ 主 イエスーは 死 に か ち まーせり

ハレ ルーヤ わ が 主ーは 世 を す べ たーも う

す べ てーの く に よーり あ が なーわ れーた る

たーみ らーた かーら か---に 主 を ほーめ ま つ る

8787D

Alleluia! sing to Jesus!
William Chatterton Dix (1837-1898)

HYFRYDOL
Rowland Hugh Prichard (1811-1887)

- | | | |
|-----|--|---|
| 1 | ハレルヤ 主イエスは
ハレルヤ わが主は
すべての ^{くに} 国より
民 ^{たみ} ら 高 ^{たか} らかに | 死に勝 ^か ちませり
世 ^よ を統 ^す べたもう
贖 ^{あがな} われたる
主をほめまつる |
| ➡ 2 | ハレルヤ 主イエスの
ハレルヤ わが主は
み ^{くに} 国 ^{のほ} に昇 ^{のぼ} りて
世 ^よ の終 ^お わりまでも | 誓 ^{ちか} いに頼 ^{たの} む
雲 ^{くも} に包 ^{つつ} まれ
われらを祝 ^{しあ} い
共 ^{とも} にまします |
| 3 | ハレルヤ 主イエスは
ハレルヤ ひとたび
たえせず み ^{かみ} 神 ^の
罪 ^{つみ} あるわれらを | 祭 ^{さい} 司 ^し の長 ^{おさ} ぞ
いけにえ ^き 献 ^げ
み ^{まへ} 前 ^の に立 ^た ちて
執 ^と り成 ^な したもう |
| 4 | ハレルヤ 主イエスは
ハレルヤ われらを
飢 ^う え ^{かわ} 渴 ^{もの} く者を
迎 ^{むか} えてたまわる | 命 ^{いのち} の糧 ^{かて} ぞ
つねに養 ^{やし} う
きよき ^{うげ} 宴 ^の に
その ^{からだ} み ^を 体を |
| 5 | ハレルヤ 主イエスは
ハレルヤ み ^{くら} 座 ^は
血 ^ち しおを流 ^{なが} して
み ^{すく} 救 ^い をたもう | 世 ^よ を統 ^す べ ^{おさ} む
永 ^と 遠 ^ね にゆるがず
死 ^し と ^あ よ ^み に勝 ^か ち
ほめよ たたえよ |

ヘブ12：2 使1：9 マタ28：20 ヘブ4：14-5：10 ロマ15：11

主を もとめよ いきよ かみのたみいの

ちよかが やけやみをてらせ ときをこえへだ

てをこえて

1	よび	かける	こえ	あま	ねく	およ
2	主の	まき	え	あま	ねく	くに
3	主イエ	スの	こ	あま	ねく	ひと

Fine

ぶこえ なきさけびのたてと一なりせい
にゆたかなみのりで地をうるおしへい
にいたみとなみだをぬぐい一さりいの

Shu o motomeyo
Paul Hikari Miyazaki (1965-), Francis Renta Nishihara (1962-)

AMOS
Peter Michi Miyazaki (1968-)

ぎわちのひびきのうたに ききみに ききわこ ききえを とるあを たうたあわ めめせ ににて 主

D.C.

(おりかえし)

主を求めよ 生きよ神の民
いのちよ輝け 闇を照らせ
時を超え へだてを超えて

1 呼びかける声 あまねく及ぶ
声なき叫びの 盾となり
正義の響き 聴きとるために

(おりかえし)

2 主の蒔きし種 あまねく国に
豊かな実りで 地を潤し
平和の恵み 分けあうために

(おりかえし)

3 主イエスのこころ あまねく人に
痛みと涙を ぬぐい去り
いのちの歌に 声を合わせて

(おりかえし)

アモ5:6 ヨハ1:4 イザ40:3 ミカ6:8 イザ55:10

礼拝についてのご案内

メアリーズホールの座席は、案内係の指示に従って前の方から順におかけください。

献金は、奉献の際に信徒奉事者が献金袋を回します。信徒奉事者の指示に従って献金をおささげください。

【信施奉献先の一つである NPO 法人メタノイアの機関誌を配布しております。ぜひ、ご一読ください。代表理事の山田拓路さんは西宮聖ペテロ教会の出身です。】

チャントは歌いません。

陪餐は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「一種陪餐」とさせていただきます。陪餐の流れについて礼拝の中でご案内いたします。

お手洗い(男女)は、メアリーズホール 3 階フロア中央後方の出入口付近にございます。

*男性用お手洗いは限られておりますので、できるだけ 1 階でお済ませください。

退堂の前に、諸報告をいたします。

オルガンの後奏・聖卓蠟燭消火ののち、舞台上から記念撮影をいたします。礼拝終了後もそのまましばらくお待ちください。

午後のプログラム

昼食 場所:地下 1 階カフェテリア(学食)

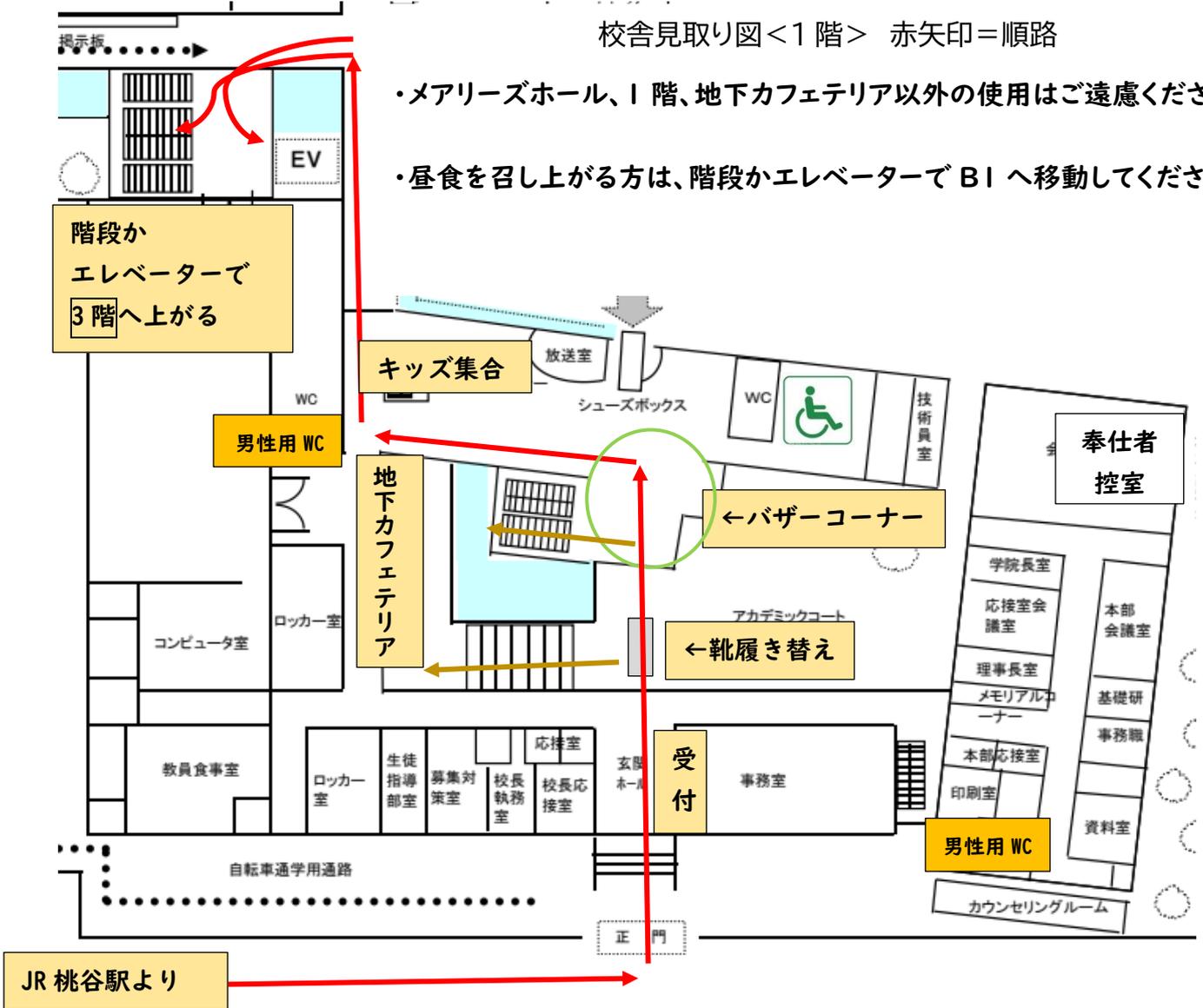
〔食券機でチケットを購入してから 受け渡し口へお並びください。メニュー: 麺類、カレー、唐揚げ丼、パン など〕

バザー 場所:受付近くの踊り場

記念コンサート (14:00~) 場所:メアリーズホール〔詳細は別紙〕

校舎見取り図<1階> 赤矢印=順路

- ・メアリーズホール、1階、地下カフェテリア以外の使用はご遠慮ください。
- ・昼食を召し上がる方は、階段かエレベーターでB1へ移動してください。



【「Re-Osaka」について】

教区成立100周年を迎えている大阪教区に連なるわたしたちは、信仰の先達の働きを感謝のうちにふりかえり、この1年間で改めて下記のようなことについて思い巡らせ、分かち合いを続けたいと願っています。

- ①100年の歩みの中で私たちはどのような実りを受けてきたか
- ②今後どのような教会(教区)を目指すのか
- ③その為に何が必要か

大阪教区教区成立100周年記念事業準備委員会が祈りのうちにこれらの問いと向き合い続ける中で、下記のような大阪教区のビジョン案として「神中心の信仰共同体への回復」が与えられました。そして、このビジョン案から100周年のテーマである「Re-Osaka」が与えられました。

100周年テーマ 「Re-Osaka」

大阪教区の今後の歩みについて思いを巡らせながら、私たちの教会の現状と課題について改めて目を向け、思いを分かち合うことを目指し、3月に開催された大阪教区第130(臨時)教区会においては、このビジョン案とテーマについて感じたことを「語り場」という形で信徒代議員、教役者議員が分かち合いました。今後も、ビジョン案および100周年テーマを呼び水として、さまざまな場でこれまでの感謝とこれからの方向性について分かち合いたいと願っています。

「ビジョン」は将来のありたい姿(自分たちの未来像)のことで、中長期的な目標を指します。「ビジョン」が大阪教区100周年以降のものであるのに対して、「テーマ」は大阪教区100周年のテーマです。「Re」には(先人の働きを)思い返す”reflect”や(大阪教区)の再出発として”restart”など様々な意味を含ませる狙いがあります。「大阪教区の新しい一歩」が神さまのみ心に適うものとなりますように心から願い、教区に連なる私たち一人ひとりが大阪教区の“Re〇〇”を心に浮かべながら、101年目に向けて祈りつつともに歩んでまいりましょう。

大阪教区教区成立100周年記念事業準備委員会・礼拝準備委員会(五十音順)

主教アンデレ磯晴久 司祭テモテ内田望 グレース内海紗英子 ソフィア内海由美子 ヨハネ太田幸彦
マリア小野田富美子 司祭ペテロ金山将司 エステル加納佳世子 司祭バルナバ小林聡 イサク寒河江研司
エリザベツ鈴木久美子 ペテロ鈴木憲二 ルデヤ辻節子 司祭フランチェスコ成岡宏晃 西口忠
ペテロ当舎葵 司祭ヨハネ古澤秀利 司祭ステパノ柳時京



表紙絵:ヴェロニカ島崎聖子(川口基督教会)

この聖餐式文は、『聖書新共同訳』(日本聖書協会, 1999 年)、『日本聖公会祈祷書』(日本聖公会, 1990 年)、『日本聖公会聖歌集』(日本聖公会, 2006 年)に基づいて作成され、日本聖公会 大阪教区主教 アンデレ磯晴久師が、救主降生 2023 年 6 月 11 日「大阪教区教区成立 100 周年記念礼拝」での使用を許可したものである。